

| | | | |
|---------------|--------------------------------------|----------|------|
| 授業コード | 2121331nh2 | 科目ナンバリング | |
| 授業名 | 欧米文化研究 | | |
| 英文名 | Cultural Studies(Europe and America) | | |
| 単位数 | 2.0単位 | | |
| 開講年度・学期 | 2026年度前期 | 曜日・時限 | 月曜2限 |
| 実施教室 | | | |
| 授業形態 | | | |
| メディア科目 | | | |
| オープン科目 | | | |
| 学位授与方針（DP） | | | |
| 担当教員(先頭者が主担当) | 中島 浩貴 | | |

| | |
|-----------------|--|
| 目的概要 | 本講義では、ヨーロッパとアメリカの文化を見ていき、欧米文化の歴史的な変化を見ていきます。そして、欧米の文化的な影響を受けた日本が、どのように変化・対応していったかをも触れていく予定です。なお、映画やドキュメンタリーを見ることで、文化の類似と相違を感じてもらいたいと考えています。 |
| 達成目標 | (1) 学生が「教養」について考えることができる。 (2) 学生が自分たちの文化と多文化との関係を理解できる。 (3) 学生が欧米文化と現在の日本を結びつけて考えることができる。 |
| 関連科目 | 「戦争と平和の歴史／歴史学A」「歴史学／歴史学B」「インテリクチュアルヒストリー特論」「教養ゼミナールB／人文社会学ゼミB（中島）」「多文化コミュニケーションA」「多文化コミュニケーションB」 |
| 履修条件 | とくになし。 |
| 教科書名 | とくになし |
| 参考書名 | 新谷卓、中島浩貴、鈴木健雄編著『歴史のなかのラディカリズム』彩流社、2021年。 トーマス・キューネ、ベンヤミン・ツィーマン編『軍事史とは何か』原書房、2017年ほか、講義中に詳しく述べる。 |
| 評価方法 | 授業中提出課題20パーセント+レポート合計80パーセント |
| 課題に対するフィードバック方法 | (第13回) 第14回で実施するレポートに関する事前説明と、それまでの提出課題に関する全体講評を行う。 (オンデマンド回) 第14回で実施したレポートに関する採点評価に関する説明を行う。 |
| 自由記載欄 | |
| アクティブラーニングの実施 | 講義では相互コミュニケーションを重視します。 教員、学生間でできるだけ意思の疎通をはかるようにし、基本的な知識の確認、疑問点などを通して、理解の促進と深化を図ります。 講義内容に関する興味関心を高めるため、簡単なピブリオバトルを行う予定です。 |
| ICTの活用 | Webclassを活用する場合があります。講義中に説明します。 |
| 実践的教育科目 | 該当せず。 |
| オンデマンド講義情報 | 【学習時期】 14回目の講義終了後、10日以内。詳細は講義中に指摘します。 【学習内容】 講義のまとめ（90分） 【教材の視聴方法】 Webclassから閲覧できるように設定します。14回目の講義終了後に、教材を視聴してください。 【事前・事後学習】 オンデマンド教材で、提示された課題を提出してください。 |

| | |
|----------|--|
| テーマ・学習内容 | |
| 第1回 | 授業概要について／ヨーロッパとアメリカの文化 【事前・事後学習】 シラバスを確認し、講義内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を探しておく。(計190分) |
| 第2回 | 欧米文化と日本（教養、大学、大衆化、消費文化） 【事前・事後学習】 講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。(計190分) |
| 第3回 | 識字率の向上と文豪（1）ヨーロッパにおける識字率の増大と文学の形成 【事前・事後学習】 講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。(計190分) |
| 第4回 | 識字率の向上と文豪（2）ドキュメンタリー・映画を見て、名作の世界を体験する 【事前・事後学習】 ドキュメンタリー・映画の内容を確認しておく。ピブリオバトルの準備をしておく。(計190分) |
| 第5回 | 大学と高等教育のエリート化 近代的な大学の形成と知識人、ピブリオバトル 【事前・事後学習】 講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。(計190分) |
| 第6回 | 第一次世界大戦の衝撃と大衆社会 【事前・事後学習】 講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ピブリオバトルの準備をしておく。(計190分) |

| | |
|------------------|---|
| 第7回 | 第一次世界大戦後の社会変容と文化 ドキュメンタリー・映画を通じて 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。ドキュメンタリー・映画の内容を確認しておく。(計190分) |
| 第8回 | ナチ政権と文化(1) ナチ政権はどのようにして成立したのか。その過程と大衆社会の到来に注目する。 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関する本を読んでおく。(計190分) |
| 第9回 | ナチ政権と文化(2) ナチ政権は何をもたらしたのだろうか。文化と社会に注目する。 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関する本を読んでおく。(計190分) |
| 第10回 | ナチ政権と文化(3) 映画、ドキュメンタリーを通じて、当時の世界を追体験する。 【事前・事後学習】ドキュメンタリー・映画の内容を確認しておく。講義内容に関する本を読んでおく。(計190分) |
| 第11回 | 大衆消費文化(1) アメリカの消費文化の形成とその世界化を見ていく。大衆消費社会の特徴、批判を知る。 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておく。(計190分) |
| 第12回 | 大衆消費文化(2) 映画、ドキュメンタリーを通じて、当時の世界を追体験する。 【事前・事後学習】ドキュメンタリー・映画の内容を確認しておく。(計190分) |
| 第13回 | ヨーロッパ、アメリカの文化と現代、ビブリオバトル 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。(計190分) |
| 第14回 | レポートと講評 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。(計190分) |
| 質問への対応(オフィスアワー等) | 鳩山校舎1号館4階1444研究室(中島浩貴研究室)で受け付けます。オフィスアワーは月曜3限です。 メールやZoomでの相談も可能です。 講義や会議がある場合がありますので、事前に連絡をお願いします。 |
| E-Mail address | hirokinakajima@mail.dendai.ac.jp |
| 備考 | 講義が中心です。わかりやすく話しますが、わからないことがあれば講義中にかまわず質問してください。歓迎します。なお、補助として映像を活用します。 |
| J A B E E | RG学系JABEEプログラムの履修生は、アセスメント・ポートフォリオで、「学習・教育到達目標」を参照の上、当該授業科目と「学習・教育到達目標」との関係は「カリキュラムマップ」で確認すること。 なお「学習・教育到達目標」の達成度については、「JABEEプログラム 学習の手引」内の「達成度の評価方法・評価基準」を参照して確認すること。 |

| | |
|--------------|--|
| 学期末試験<事務部記入> | |
| 試験方法 | |
| 試験実施日時 | |
| 参照可否 | |
| 着席方法 | |
| レポート提出先 | |
| レポート提出期限日時 | |
| 備考 | |